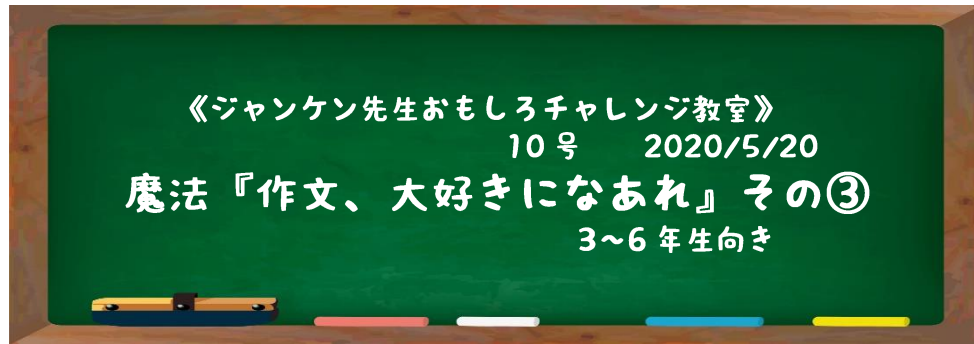




ジャンケン先生からの^{ちやうなんもん}超難問。「お皿の写真は、今、何時。」

先生が「メダちゃん、チョコパイ、いつも食べているの。」と聞きました。メダちゃんは「チョコパイ、私、大好きなのです。でも、ちょっと値段が高いので、おこづかいでは買いません。だから、おやつにお母さんが出してくれるのです。」と、得意（とくい）になって話しました。そうしたら、先生はゆっくりとこう言うのです。

「あれ、メダちゃん、今、『おやつ』と言いましたよ。ということは、この写真の時間はおやつ、3時だと思ったのですね。」

メダ「チョコパイはごはんの時には食べない。私はおやつの時間と思っていたのだ。すごい。先生、そういう見えないことを書くのが、『作文大好き魔法』なのですか。」

先生は「そうかも」と言いながら、説明してくれました。



ー	で	ヨ	い		
ン	、	コ	な	三	
、	ゆ	の	あ	時	
あ	っ	に	。	、	
っ	く	お	お	お	チ
、	り	い	か	や	ョ
お	食	が	あ	つ	コ
皿	べ	し	さん	の	パイ
が	よう	て	が	時間	
落ち	と思	き	運	です	
た	い	まし	ん	。	
。	まし	た	で	チ	
チ	した	。	きた	ョ	
ョ	た	早く	た	コ	
コ	。	食	お	パイ	メ
パイ	ガ	べ	皿	が	ダ
が	チャ	ない	から	い	モ
：			チ		

見えることだけ書いたら、みんな同じ作文になる。「青いテーブルクロスがある。その上に、白いお皿がおかれている」 全部がこんな作文だったら、おもしろくない。見えないものは人によってちがう。その人によってちがう《見えないもの》を書く、それが作文。たとえば、チョコパイ、おかあさん、おやつ、スプーン、何か音は？ 台所からいいにおいが？どこなの？だれかいいる？

「では、最初に『三時、おやつの時間です』と書きなさい。その続きを《見えないもの》で書いてみましょう」

メダちゃんの話 「左は私の作文。書いていると楽しい。もっと書きたくなった。こんなこと初めて。そうか、これが魔法なのか。私、先生にお願いしたの。『先生、私にもっと魔法かけてください』って。

そうしたら、先生、「よし、明日も魔法かけるぞ」って、笑いながら言ったの。明日が楽しみ。みなさんもいっしょに魔法かけてもらいましょうよ。」